

舟山やすえ レポート

発行元: 舟山やすえ事務所

〒990-0039
山形県山形市香澄町3丁目2番1号
山交ビル8階 (2016年11月1日より)
TEL:023-627-2780
FAX:023-674-0278

2016 年
早秋号

Vol. 1

ごあいさつ

皆さんいかがお過ごしでしょうか？

早いもので、7月の参議院選挙から3ヶ月が経過しました。改めて、ご支援をいただいた皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

7月26日から6年間の任期がはじまり、8月1日に初登院となりました。そして9月26日から臨時国会が始まり本格的な論戦がスタートしました。

今国会の最大の焦点は環太平洋パートナーシップ協定（TPP）です。TPP は、農業のみならず、医療や食の安全基準など、国民生活全般に影響を及ぼす国際協定です。グローバル化の恩恵が富裕層に偏り、格差拡大につながっているとの認識が広がり、アメリカをはじめほとんどの国がまだまだ議論の途上です。政府・与党は強行採決も辞さないとの姿勢のようですが、とんでもない！しっかりと情報公開と内容分析、影響の検証を求め、拙速な承認に待ったをかけていきたいと思っています。



次女と共に国会へ初登院する舟山やすえ

私は今、無所属の立場ですが、議会活動は政党とは別の「会派」というグループ単位で行われており「民進党・新緑風会」に所属しています。この会派の中で、予算委員会理事と国会対策委員会委員長代理という大役を拝命したほか、農林水産委員会と東日本大震災特別委員会にも配属となりました。

10月5日には、予算委員会で2時間近く質問をさせていただきました。テーマはTPPを中心に食の安全、パリ協定、安全保障問題など多岐に渡り安倍総理や農水大臣ほか多くの閣僚へ日頃の疑問や懸念、問題点をぶつけました。NHKの全国中継もありましたので、山形県民のみならず、全国の視聴者の方からも激励の声をたくさんいただきました。

とにかく、選挙でも訴えてきましたとおり、多様な声を国会に届け、地方の実態を国に伝え、しっかりと議論を重ねてよりよい制度、政策づくりに加わっていきたいと思います。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

参議院議員 舟山 やす元

鋭い弁舌、首相らもたじたじ

2016 年 10 月 6 日 山形新聞「記者室ノート」より

2016 年度第2次補正予算案が送付された参議院で5日、予算委員会の審議が始まり、先の参議院山形選挙区で返り咲いた民進党・新緑風会の舟山康江氏が質疑者に抜擢された。3年のブランクを感じさせない鋭い弁舌で総括質疑し、安倍晋三首相ら官僚をたじたとさせた。

舟山氏は持ち時間のほとんどを環太平洋連携協定（TPP）に関する内容に充てた。日本の食の安全を守るよう訴え、通告に基づき、欧州連合（EU）で禁止されている成長ホルモン

などが投与された畜産物が輸入される
 恐れがないか尋ねると、塩崎恭久厚労
 相が「通告されていないので調べてい
 ない」と立ち往生する場面もあった。

舟山氏は最後に、政府が集団的自衛権行使容認の根拠としている1972(昭和47)年の政府見解を取り上げ、安倍首相の考えをただすと、首相は抽象的な答えに終始。委員会の終了後、首相は舟山氏に歩み寄り「時間がなくなってしまう、答弁が途中になってしまった。申し訳ない」と笑顔で釈明していた。

